

平成31年度(令和元年度) 学校自己評価システムシート (滑川町立月の輪小学校)

目指す学校像	子供が生き生きと活動し、保護者や地域から信頼される学校			達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
重点目標	1 確かな学力の確立	○日々の授業の充実	○学力と体力の向上		B	概ね達成 (6割以上)
	2 豊かな心と人権尊重の精神の育成	○人との関わりを豊かにし、思いやりの心を育む道德教育の推進			C	変化の兆し (4割以上)
	3 学校・家庭・地域との連携	○家庭・地域に見える教育の推進			D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 3 1 日 現 在)			実 施 日 令 和 2 年 2 月 6 日	
番	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 目 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	議	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	
1	<p>○授業規律は概ね身に付いている。</p> <p>○基礎・基本の定着は着実に進んでいる。</p> <p>▲学力面・意欲面で個人差が見られる。</p> <p>▲自分で考え、まとめ、発表することが苦手である。</p> <p>○休み時間は、積極的に外に出て、遊んでいる。</p> <p>○肥満傾向は徐々に改善されている。</p> <p>▲新体力テストでは、全国平均を下回る種目が多い。</p>	学力の向上 体力の向上	<p>・「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、問題解決的な授業や話し合い活動を積極的に取り入れ、授業改善を図る。</p> <p>・算数の少人数指導により、個に応じた指導を充実させ、各層の学力向上を図る。</p> <p>・業前や夏季休業日等の時間を活用し、基礎・基本的の確実な定着に努める。</p> <p>・体育の授業で、補強運動やダッシュ等の運動を毎時間取り入れる。</p> <p>・家庭と連携を図り、学習の仕方や宿題の取り組み方、体力向上や望ましい生活習慣の定着等を伝え、協力を得る。</p>	<p>・学校評価に関するアンケートで「授業がわかる」「学習の仕方がわかる」の項目を95%以上にする。</p> <p>・基礎的基本的な事項の定着度を見る評価テストで平均90点以上を90%以上にする。</p> <p>・新体力テストの結果の総合評価(A+B+C)を80%以上にする。</p>	<p>・「授業が分かる」93%、「学習の仕方が分かる」94%で、95%をやや下回った。学年別では、95%を大きく越える学年もあり、学年間の差は前者9.7、後者8.8ポイントあった。</p> <p>・評価テストの達成率は、目標に達しなかった。しかし、全国学調では、国の平均点を超えた。県の学調では、県平均以下の項目もあるが学力は着実に伸びている。</p> <p>・新体力テストの結果(A+B+C)は80.5%であった。学年間の差が激しく、34.4ポイントもの差が見られた。</p>	B	<p>・どのクラスも授業規律は概ね身に付いている。</p> <p>・話し合い活動を積極的に取り入れ、目標に即した学習の振り返りを意識した授業展開が定着しつつある。</p> <p>・二極化傾向があるので、個に応じた指導に継続して取り組む必要がある。</p> <p>・外遊びの推奨と、体育授業の取組を工夫する。</p>	<p>・それぞれの先生方が、工夫して授業している。引き続き、次期学習指導要領の趣旨に沿った授業改善をして欲しい。</p> <p>・どのクラスも落ち着いて授業ができていた。授業規律は身に付いているが、管理的でなく、児童自らが考え行動できるような主体性を育てて欲しい。</p> <p>・書き方、伝え方、投げ方や走り方など、技術指導とあわせて、児童の意欲を育てる事も必要である。</p>
2	<p>○昨年度まで取り組んできた道德教育の研究の成果から、計画的な授業実践や道徳性は身に付いてきている。</p> <p>○道德教育の推進については、保護者との連携が図られている。</p> <p>▲児童の道徳性や道徳的实践には、個人差が見られる。</p> <p>○全体で揃ってのあいさつは、しっかりできる。</p> <p>○気持ちの良い返事やあいさつをする児童が多い。</p> <p>▲あいさつができない児童や地域や来校者へあいさつができない児童もいる。</p>	豊かな心の育成 規律ある態度の育成 (場に応じたあいさつ・返事)	<p>・昨年度までの研究や、今年度取り組んでいる人権教育の成果を基に、児童の実態をふまえた指導計画を立て全教職員で取り組む。</p> <p>・考え議論する「道徳」の授業を目指した授業改善を図り、児童の道徳性や道徳的实践力を高めるよう努める。</p> <p>・学級活動や道徳の授業であいさつや返事の仕方などを具体的に指導する。</p> <p>・全ての教育活動に於いて、あいさつの実践に心がけ、指導・評価に努める。</p> <p>・PTAと連携し児童の主体的な活動としてのあいさつ運動を繰り返し実施する。</p>	<p>・学校生活アンケートで豊かな心や規律ある態度に関する項目において、達成率を85%以上にする。</p> <p>・学校評価に関わるアンケート「あいさつ」の項目で児童・保護者の達成率を90%以上にする。</p> <p>・学校生活アンケートで規律ある態度に関する項目において達成率85%以上にする。</p>	<p>・今年度から教科化された道徳や委嘱を受け取り組んでいる人権教育の指導に取り組み、全クラスが保護者に授業を公開した。規律ある態度の達成率は86.2%であった。</p> <p>・「あいさつ」の項目の達成率は児童が87%、保護者が85%であった。県学調(4年生以上で実施)の本校の平均も81.6%であり、「あいさつ」については課題が残る。</p> <p>・保護者アンケートの「規律ある態度(あいさつ・返事・ルール・マナー)」については、91.5%で目標値を上回ったが、昨年度より少し下がった。</p>	A	<p>・前年度までの研究の成果や道徳の教科化による授業改善、町の人権教育の委嘱をふまえ、授業では道徳的価値を感じ、理解を深め、道徳的实践力を身に付けさせていく。また、家庭との協力を図りながら、豊かな心を育てていく。</p> <p>・規律ある態度、特に「あいさつ」についての評価が低い。全ての教科領域を通して、継続して指導していく。</p>	<p>・道徳や人権教育について、保護者に授業を公開することで理解を得て協力して子育てができています。</p> <p>・「あいさつ」については、毎年の課題である。登校班では班長の存在が大きいので、リーダーとしての自覚を持たせたい。我々大人が子供たちに見本を見せていく必要もあるだろう。</p> <p>・学校教育活動アンケート等の結果については、学校全体、学年別、経年変化等、多面的に分析して、課題や方策を検討していくことが必要である。</p>
3	<p>○学校・学年だより、保健だより等により、保護者・地域に教育活動等の情報を積極的に提供している。</p> <p>○いくつかのクラスでは、学級通信を発行しクラスの様子を伝えている。</p> <p>○学校メールはほぼ全家庭が登録し、緊急時の連絡が迅速に伝えられている。</p> <p>▲学校や学年の方針が保護者や地域に十分浸透しているとは言えない。</p> <p>▲学校HPの更新が少ない。</p>	開かれた学校づくり (家庭・地域に見える取組)	<p>・授業参観等を学期1回以上実施すると共に、学校だより、学年だより等を定期的に発行し、児童の活動の様子や学校の考え方など積極的に発信していく。</p> <p>・学校行事を積極的に公開し、児童の活動の様子を見ていただく。</p> <p>・職員もPTA行事や地域行事等に積極的に参加し、連携を図る。</p> <p>・保護者の意見を積極的に徴収し、改善に生かす。</p> <p>・学校HPを更新し、旬な活動を公開する。</p>	<p>・学校評価に関わるアンケートで積極的に「情報公開している」「PTAや地域活動等に取り組んでいる」の項目の95%を維持する。</p> <p>・学校公開や授業参観等の参加率を全体の90%以上にする。</p> <p>・HP更新を月2回以上更新する。</p>	<p>・学校評価アンケート「情報公開している」が95%、「PTAや地域活動等に取り組んでいる」が99%であり、学校の教育活動を広く保護者や地域に発信できている。</p> <p>・学校公開・授業参観の参加率が93.9%であり、学校教育に関する関心が高いことがうかがえる。</p> <p>・メールは適宜発信したが、HPの更新は月1回程度であった。</p>	A	<p>・引き続き、学校だより、学年だより等の通信類を発行し、学校の教育活動の周知を行う。</p> <p>・PTA活動については、役員の負担軽減を考慮し、見直しも必要である。</p> <p>・学校行事等も含め、広く学校を公開し、意見聴取に努める。</p> <p>・HPの活用を図りたい。</p>	<p>・学校だよりの地域回覧で、学校の様子は地域にも伝わっていると思う。学校の負担になってしまうことも考えられるが、HPの活用も図れると良いかもしれない。</p> <p>・限られた校区内だけでなく、町の様子を、児童はもとより教職員にも知って欲しい。そういう意味も含めて、森林公園まで全校で行く「なかよし遠足」を実施する意味は大きいと思う。</p>

○印：成果と思われること ▲印：課題と思われること